

平成27年度 大木町健全化判断比率及び資金不足比率の報告

健全化判断比率の状況

比率名	平成27年度(%)	早期健全化基準(%)
1. 実質赤字比率	—	15.00
2. 連結実質赤字比率	—	20.00
3. 実質公債費比率	7.5	25.00
4. 実質将来負担比率	—	350.00

※**財政健全化判断比率**とは、財政の早期健全化や再生の必要性を判断する為のものとして、「**実質赤字比率**」「**連結実質赤字比率**」「**実質公債費比率**」「**将来負担比率**」の4つの財政指標を定めている。4指標とも数値が大きいほど財政状況は悪いとされる。

※実質赤字比率および連結実質赤字比率は赤字額がないため算出していない。実質公債費比率は昨年と同じ。実質将来負担比率は将来にわたっての負担を収入が上回っているため算定しない。いずれの比率も国が定めた早期健全化基準を下回っている。

資金不足比率の状況

比率名	平成27年度	経営健全化基準(%)
5. 資金不足比率	—	20.00

※資金不足額は生じていないため比率は算出していない。

株式会社大木町健康づくり公社アクアス経営状況報告

- ・平成27年度の入館者は、182,330名、前年度比▲19,097名(91%)。
- ・平成26年に消費税が3%増税で経費の負担が増えやむなく27年6月に入館料値上げを実施。
- ・平成27年12月に経年劣化により源泉ポンプが故障、6日間に亘り臨時休業。
- ・平成28年2月には1ヵ月間休業し安全を最優先に危険個所の改修工事を実施。
- ・「くるん液肥」を活用した特別栽培米元気づくし「環のめぐみ」は、一般予約に併せて多子世帯支援事業(行政半額補助)が加わり、玄米39トンを販売。

一般社団法人サステナブルおおき経営状況報告

- ・おおき循環センターでの、生ごみ収集状況は1,168.7トン、メタン発酵消化液の活用は118.8ha、散布量は5,469.6トン、菜の花プロジェクト(環のかおり)では、954本と1斗缶で12缶を販売。廃油液体石鹸販売では29万1,140円を売り上げ、道の駅おおきでは24万4,990人の来場者があった。
- ・環境プラザではリユース品販売等により、81万4,520円を売り上げ、おもちゃクリニックでは16件の修理を完了。

一般財団法人ひしのみ国際交流センター経営状況報告

地域住民主体の国際交流等の推進を通じて、国際社会で活躍できる人材育成を目的にこれまでセンターが培ってきた経験や知恵、そして人材を活用し、さらに、地域の各団体と連携しながら各事業を実施した。

1 語学講座事業

- ひしのみ英会話事業
- Englishサークル
- ハングル講座

2 国際交流事業

- こども英会話教室
- Englishサークル・シンガポール英語研修
- インドふれあいの旅

3 広報啓発事業

- 広報誌(HIくらぶ)の発行
- フェイスブックの活用
- 地域イベントへの参加

4 青少年育成事業

- 青少年ベトナム研修

5 海外留学支援事業

- 2名の留学生に対し助成



青少年ベトナム研修の様子